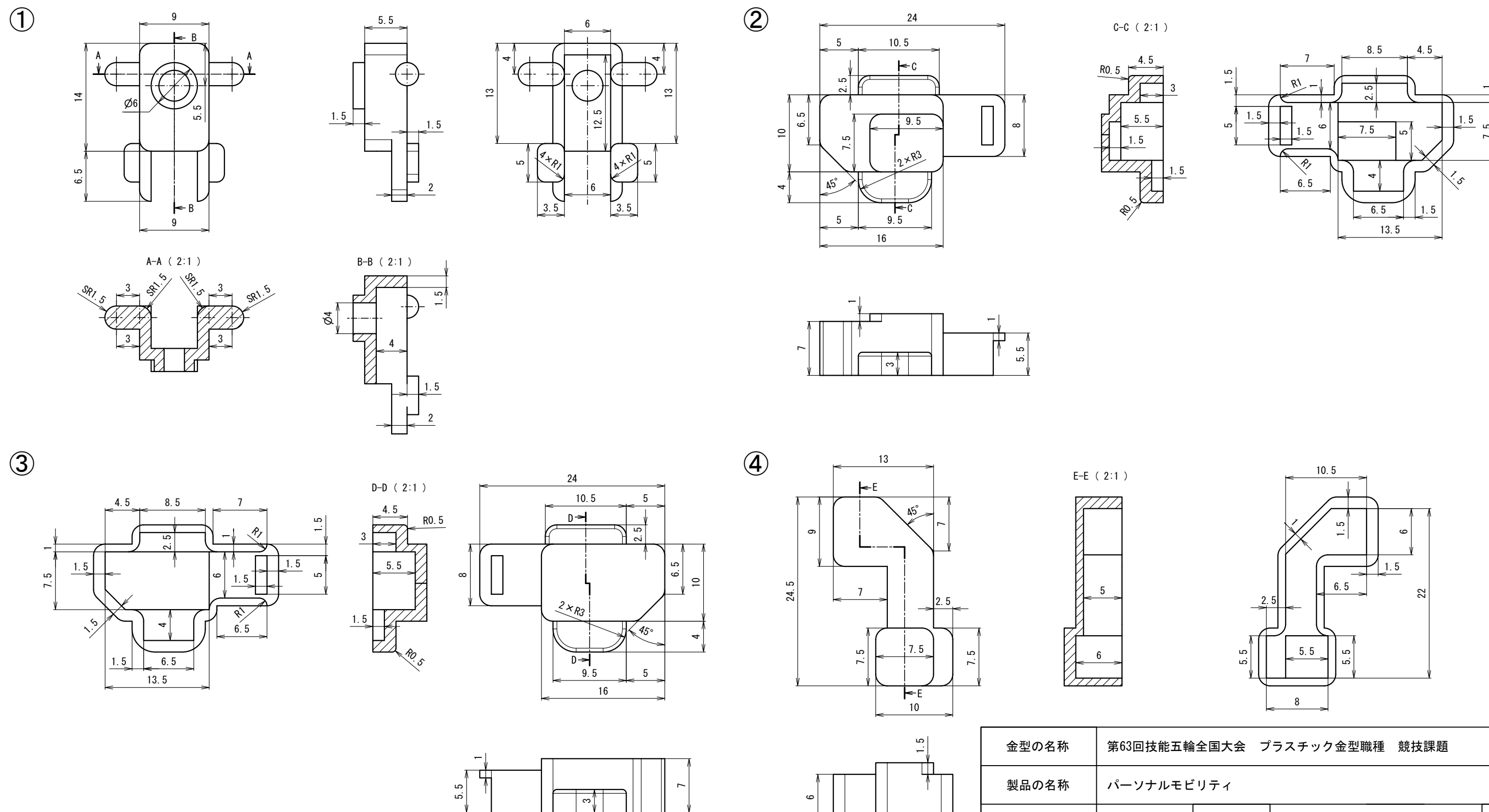
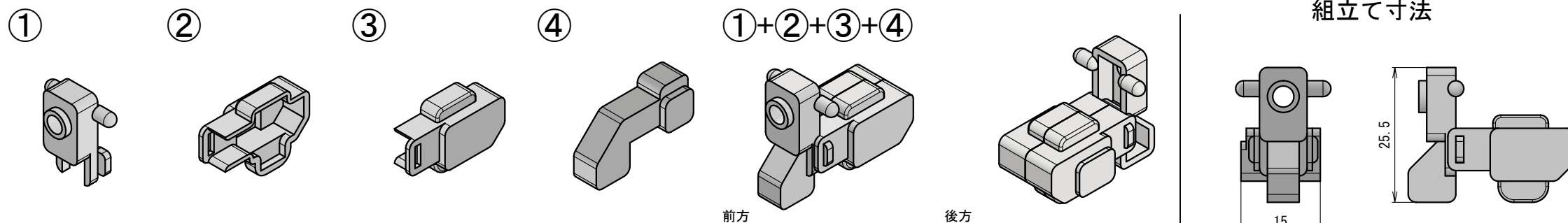


一次提案用

- ・製品の表面にカッターマークや擦り傷がないこと。
- ・製品の寸法公差は特に指示がない場合 $\pm 0.03\text{mm}$ とする。
- ・製品部の指示の無い角部の丸みは $R1.5$ とする。

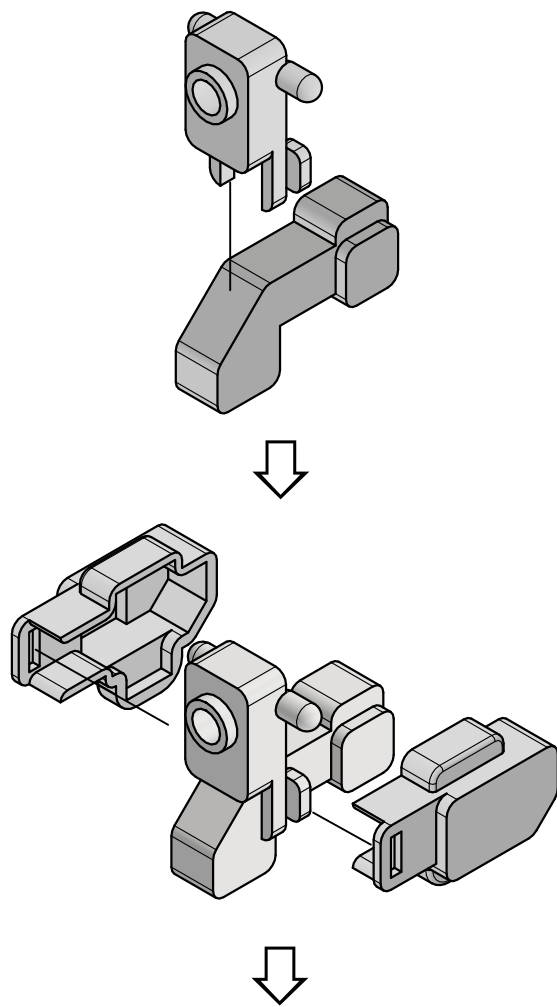


金型の名称	第63回技能五輪全国大会 プラスチック金型職種 競技課題			
製品の名称	パーソナルモビリティ			
材質	ポリスチレン	収縮率	0.5%	2:1 A3

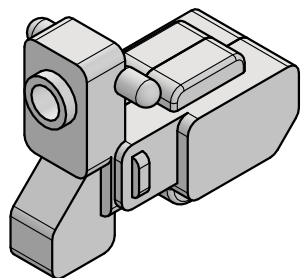
課題の特徴（形状や組立機構の魅力、加工難易度）

形状や組立機構の魅力など

- ・製品の組立部が4部品すべてに関連しているため、加工の影響が組立状態に影響しやすい。
- ・タイヤの丸みをR3を用いて、実物に近い形状を表現しました。



組立状態



- ・製品のはめ合いは刃具に依存することなく選手自身で調整できるようにしました。
- ・加工ミスがあると組付けや組立寸法に影響しやすいように作成しました。
- ・部品②にサイドバッグをイメージし一段多く設けて、部品③とミラー形状にならないようにしました。

加工難易度など

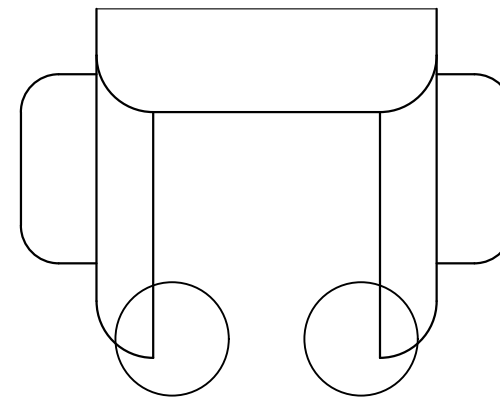
●機械競技

- ・62回大会課題に比べると加工面数は少なくなっているが、使用するエンドミルの種類が増えているので加工難易度は適正であると考えます。

●仕上げ競技

- ・側面が最小1mm～最大7mmと深さが幅広く存在しているので正確に磨き代を落とす技術が求められます。

- バリが出やすい製品形状が多くあるため、みがき崩しなど選手の技術力が試されます。



バリが出やすい

●成形競技

- ・深さのある側面が多数存在しているので成形品の離型傷等が見えやすく磨きの熟練度によって大きく差がつくと考えます。
- ・製品の肉厚が1mmと1.5mm多く混在しているため樹脂の流動が悪く、成形不良が発生しやすいので最適な成形条件を見つける必要があります。

